

2022年
138号

令和4年4月1日
発行



O C H I H O K A I

落穂会だより

社会福祉法人 落穂会

2022年(令和4年)1月1日

土曜日

晴

本

美術

万葉

高3回春便物認可

共生の扉

木のぬくもりがあふれるギャラリーに入ると、色鮮やかなアート作品が目に飛び込んできた。鹿児島市皆与志町の障害者支援施設「あさひが丘」に併設されている「ぎゃらりーASAHIYA」。知的障害や自閉症のある18歳から70歳の約100人が制作した陶芸、絵画、革製品など世界に二つとない独創的な作品が広がる。



作品を手に、笑顔の利用者ら=鹿児島市皆与志町のぎゃらりーASAHIYA

(南日本新聞 令和4年1月1日号に掲載されました。)

「共生の扉」

木のぬくもりがあふれるギャラリーに入ると、色鮮やかなアート作品が目に飛び込んできた。鹿児島市皆与志町の障害者支援施設「あさひが丘」に併設されている「ぎゃらりーASAHIYA」。知的障害や自閉症のある18歳から70歳の約100人が制作した陶芸、絵画、革製品など世界に二つとない独創的な作品が広がる。

P2. 南日本新聞掲載記事
P3. ぎゃらりーASAHIYA制作風景

P4. My Field (マイフィールド)

P5. さんぽみち

P6. TOPIX (トピックス)

- ・新成人の集い
- ・生産者直売コーナー

P7. ・RDA JAPAN

- ・こどもサポートセンターあさひが丘

P8. Bakery 楓 春限定商品紹介
Cafe NODOKA デラックスプレートランチ
ぎゃらりーASAHIYA新作紹介



あなたも私も 皆が主役

ぎゃらりーASAHIYA(鹿児島市)

「自分自身を自由に表現することが心身の健康につながる。やりたい創作活動をやりたい時にしてもらっている」。日中活動支援課長の新澤杏奈さん(39)は説明する。地域の人たちに作品を見てもらおうと開設したギャラリーは今年8年目を迎える。

ギャラリー以外にも課外活動の一環として、学校バザーやイベントに参加し作品を展示販売してきた。ところが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止が相次いだ。どうすればいいのか。まずは施設内での活動を充実させようと昨年7月、「アートデー」を設けた。皆で一緒に絵やタペストリーなどを作る時間だ。8月には鹿児島市のマルヤガーデンズに共同作品を展示し好評を博した。

12月の「アートデー」では新年の干支(えと)「寅(とら)」と前年の「丑(うし)」をテーマにした。利用者の前田崇志さん(26)と柳園夏菜子さん(25)

のデザインをもとに和紙や折り紙をちぎって貼ったり、竹や廃材を組み立てたりと試行錯誤。びょうぶとしめ縄も組み合わせた立体作品に仕上げた。

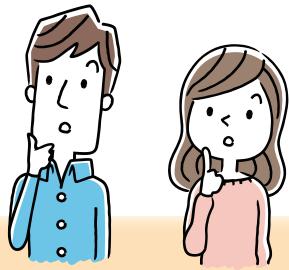
完成した日。メンバーに集まってもらい写真を撮った。わいわいがやがやとした雰囲気。舞台のようなセリフをつぶやく人、恥ずかしがって下を向く人、「新聞に出る」と大喜びの人もいる。支援員の本田和輝さん(29)が「カメラを見てね」と呼び掛けると、ほんの一瞬、気持ちが集まり笑顔が輝いた。

「コロナが早く収束し多くの人にギャラリーに来てもらえるといい。扉はいつでも開いています」。新澤さんが代弁する。鹿児島に暮らす誰もが尊重し合い共生する、そんな新年となればいい。

文：速見由紀子(南日本新聞社)
写真：有村美千代(南日本新聞社)

制作風景





マイ フィールド My Field



垂 口 展 之 (43歳)

旭福祉センター 生活介護責任者
平成29年6月入社

Q1 現在の所属を教えてください。

今は生活介護の責任者をさせていただいている。

Q2 入社を決めたきっかけは何ですか?

他の福祉施設も検討したのですが、最終的に旭福祉センターで面接をしていただいた時の副施設長の笑顔が決め手でした。

Q3 仕事のやりがいを感じるのはどんな時ですか?

皆さんそうだと思いますが、やっぱり利用者の成長する姿が見られることですかね。そこに微力ながらも自分が関わることが出来たときはこの仕事をやってよかったなって感じます。

Q4 入社して自分自身が変わったと思うことがありますか?

私は異業種からの転職組で、これまでの生活の中で「障害」というものが身近ではなかったんですが、今こうやって障害者の方々と関わる仕事に就いたことで、その環境が当たり前のように感じられることが大きな変化だと思います。

Q5 何か失敗談がありますか?

入社したての頃に夜勤をした時のことなのですが、消灯時間に一人の利用者さんの姿が見えず、探したら別の部屋にいたので注意をしたら、その後半年くらいは素っ気ない態度を取られ続けてしまいました…。今では普通に話ができますが、人間関係が出来ていない状態での声掛けでしたので、もう少し工夫が必要だったと反省しました。

Q6 趣味は何ですか?

サッカー観戦ですかね。県外にいる頃に見るようになり、よくスタジアムに足を運びました。そのうちにいつの間にかスタジアム巡りが好きになってしまって、これまでに国内40か所以上行きました。そうしたら今度はなぜか芝にハマってしまって(笑)。旧国立競技場が解体される時に競技場の芝が販売されていたんですけど購入してしばらく育ててました。だいぶ増えましたよ。最終的には全部枯れましたけど…。

Q7 といえばサッカーの試合の記録か何かをしてましたよね?

そうです。国体の九州ブロック大会の記録をしました。

Q8 どのような経緯だったんですか?

以前、サッカーチームを運営しているNPO法人の職業訓練があることを知って、サッカーが好きだったので受講したことがあるんです。受講終了後もそのサッカーチームの試合を観に行っていたんですけど、とある日に記録をしてくれないかと頼まれてそこから月に1~2回程度記録をするようになって、その時に県のサッカー協会の方から国体の九州ブロック大会での記録をしてみないかと声を掛けられました。



Q9 休日はどのように過ごしていますか?

そうですね。コロナ前はドライブが好きで車で行けるところは色々行きましたね。用事もないのに空港に行ってみたり(笑)あ、猫島って知っています?大分とか熊本にもあるんですけど、猫がたくさんいる島で島全体で猫を可愛がっているんですよ。足にすり寄ってきたりして可愛かった~。今はコロナ禍なので温泉とかですかね。

Q10 結婚されてますけど、結婚してから変わったって感じることありますか?

妻が奄美出身ということもあって奄美にすごく興味が湧きました。毎年帰省するんですけど、その時に色々開拓しています。鶏飯が美味しいくて最高でした。最近は縁起物のハブの骨を持ち歩いています(笑)



Q11 おすすめの本をプレゼントしてください。

「働く理由」という本はよかったです。書店でたまたま手に取った本だったんですけど、色々人の名言が綴られていて中には胸にささる言葉もありました。

最後に…

もう最後ですか?もういいんですか?何なら2週で特集していただいてもいいんですけど。

いえ、大丈夫です。

あ、そうですか。残念です。

ありがとうございました。



さんぽみち

地域生活支援センターあさひが丘
ワークショップあすもね
(就労継続支援B型)
浦崎 大成さん
(21歳)



Q 1. 自己紹介をお願いします。

●浦崎大成です。えーっと、21歳です!!

Q 2. あすもねでのお仕事は何ですか？

●お菓子です。原料を入れたり、楽しいです。

Q 3. どんなお仕事ですか？

●お菓子を計ります。お菓子を、袋に入れる時、乾燥材が後ろに入っているか見ます。簡単です。
給食配達が好きです。ドライブみたいです。

Q 4. ドライブ気分でお仕事は楽しいですね。寝ていませんか？

●寝てません!!



Q 5. 失礼しました!! 究張ってますね。あすもねの仲間とは仲良くしてますか？

「母のひとりごと」

あさひが丘学園 保護者 福留 和歌子さん

息子基記（もとき）は、1995年3月4日3人兄弟の次男として生まれ、今年で27歳になりました。

今では想像もつきませんが、幼少期はおとなしくいつもニコニコ笑顔の可愛い男の子でした。

一歳違いの兄と幼稚園に通うようになった頃、周りの子どもたちの関わり（集団行動）が出来なかつたり多動が目立ちはじめ、何かが違う事に気付きました。

今思えば、基記が幼稚園生の頃がいちばん葛藤があつた時期であったと思います。

知的障害について何の知識もない中で、5歳の誕生日の時、児相で知的障害児の診断を受けた時のショックは今でも忘れる事が出来ません。

●仲良しです。あおいさんが一番好きです!! あとは、女の子も好きです（照）。

Q 6. 楽しい職場ですね。では、お休みの日は何をしていますか？

●お家でゲームです。嵐のDVDも見ました。My LOVEが好きです。
お手伝いもします!!

Q 7. どんなお手伝いをしますか？

●洗濯です。お父さんが“自分でしなさい”と言います。
お父さん、洗濯する人、僕は畳みます。
掃除機もします。

Q 8. 家族みんなで分担してるんですね。いいですね？

●お母さん優しいです。“元気にお仕事頑張ってね”って言います。お父さんは、“元気にやれる!!”って言います。

Q 9. 仲良し家族ですね。最後に、大成さんの今後の楽しみを教えてください？

●嵐のコンサートに行きたいです!! お仕事頑張ります!!

コンサートに行けるように頑張ってくださいね。
ありがとうございました。

受け入れられない自分がいましたが、基記が前に進めるように手帳を受け養護学校に通うこととなりました。学業期間の12年間は、先生方に恵まれ、陶器作りと出会えました。

あさひが丘学園には、小学部のとき「我路」にお世話になったことにより現在（日中2科）に至ります。基記にとっては、学園での陶器作りは、ライフサイクルの一部といつても過言ではないと感じています。

成長と共に自我も芽生え、ニコニコからパワーアップし自己主張を行う基記に対し、学園スタッフの皆さんとの手厚いサポートには感謝しかありません。いつも本当に愛情いっぱい接してくださいありがとうございます。

最後に母のひとりごとですが、生まれ変わっても基記と親子として出会いたいです。そして次こそは私が基記の子どもとして生まれてきたいです。

TOPIX トピックス 新成人の集い

あさひが丘学園



義 結 花 さん

これからも活動に元気よく参加します。そして、毎日笑顔で楽しく過ごしていきます。



平 川 英里奈 さん

これからもみんなとなかよく、げんきでがんばります。

地域生活支援センター あさひが丘



持 留 心 さん

お仕事を頑張ります。東京ディズニーランドに行って、ミッキーに会いたいです。



杉 澤 麻理絵 さん

この大変な時期の中、沢山の人に支えられ成人を迎えることが出来ました。これからもいろいろなことがあると思いますが、感謝の気持ちを忘れずに、頑張っていきたいと思います。



西 田 絵玲奈 さん

みんなと一緒に仲良く仕事を頑張ります。

生産者直売コーナー

Bakery楓店舗前に
生産者直売コーナーOPEN !!

日頃より地域の方々と交流する中で、地元の生産者の方から「近くで野菜を販売する場所がないだろうか」とのお声をいただきました。そこで、この度 Bakery 楓の店舗前に生産者直売コーナーを設置し、12月17日にOPENとなりました。

現在、岡之原町・皆志町の5名の生産者の方に野菜を納めていただいております。生産者の方が丹精込めて育てた四季折々のおいしい野菜が並んでおりますので、ぜひ足をお運びください !!



RDA Japan 認定インストラクター養成講習会 2022

令和4年3月20日(日)、21日(月)に、あさひが丘乗馬俱楽部シュバルで、RDAJapan主催によるホースセラピー(障がい者乗馬)講習会が行われました。

このRDA(Riding for the Disabled Association)は、「障がいのある方も健常者と同じように乗馬や馬車操作を楽しむ機会を提供し、QOLの向上を図ることと共に、障がい者乗馬の現場で活躍する人材育成を目的として活動している団体です。RDAの、「心身に障がいやストレスを持つ人たちに乗馬の機会を提供し、乗馬や馬に触れ合うことで、生活を豊かにしていきたい」という願いに、私たちシュバルも同じ思いがあり、RDAJapanの活動認定を受け、乗馬活動を実施しています。そこで今回、あさひが丘乗馬俱楽部シュバルが会場となり、講習会が開催されることとなりました。

RDAJapan認定インストラクターである、社会福祉法人香月福祉会の岩下香織氏と、社会福祉法人恵光園ヒボ

クラブの井上哲良氏を講師に招き、2日間にわたる講習会が行われました。実際に馬を使用して、馬の取り扱いや馬を引いて歩くリーダー、騎乗者のサポートをするサイドウォーカー等、ヘルパーとしての役割を体験、確認する実技講習と、馬の身体の構造や品種、性格などの基本的なことから、馬具の説明やホースセラピーによる効果等の知識を得る座学での講習が行われました。シュバルからは5名のスタッフが参加したほか、鹿児島大学や富崎大学の馬術部の学生など合計12名が講習会に参加しました。日頃、放課後等デイサービスの子どもたちを中心に、馬とのふれあいや個別レッスン等を行っていますが、今回の講習で、より専門的な視点の必要性や、馬についての基本的な部分を再確認できる機会となりました。今回、講習で得たことを実際の現場で実践し、シュバルを利用する方々が、安心、安全に乗馬活動を楽しめるよう努めていきたいと思います。



こどもサポートセンターあさひが丘

令和4年4月1日より、社会福祉法人落穂会から、新たな事業所が開所しました。旭福祉センターの運営するパン屋さん「ベーカリー楓」の隣に、「こどもサポートセンターあさひが丘」が建設されました。この事業所では、児童発達支援（定員10名）と放課後等デイサービス（定員10名）の事業を運営します。また、地域の方への開放スペースとして、建物の中に、「地域交流室」を設けました。春山の地域を中心に、地域住民の方々に気軽に足を運んでいただき、地域活動やイベント、ちょっとした茶話会などで活用してもらなながら、事業所に通う子どもたちや職員との交流を深めていきたいと考えています。

3月5日(土)、春山町内会長をはじめ、役員の方々をお招きし、「こどもサポートセンターあさひが丘内覧会」を実施しました。内覧会では、施設内の見学や事業内容の説明などを行い、あわせて、地域交流室の活用方法についての意見交換も行いました。地域の方々より、地域交流室や会議室の有効活用について、多くのご意見を頂きました。老若男女問わず、地域の方々も、事業所を利用する子ども達も、働くスタッフも、皆が交わりながら過ごしていく中で、「地域の活性化」や「共生と共創」の一歩となればと思っています。



外観（全体）



放課後等デイサービス療育室入口



内覧会の様子



地域交流室



児童発達療育室

地域の方との意見交換会

春 限定商品紹介



春らしい桜のパンが登場～!!!

人気の塩パンと桜の館がコラボ。桜の花の塩漬けと餡子でより春らしさを感じられる期間限定の塩パンです。ほんのり桜香るおやきあんぱんもこの時期のみの販売です。

また今年度も毎月第4土・日は「楓の日」を開催します。お得な2日間の詳細はインスタグラムをご覧ください。皆様のご来店お待ちしています。

ほんのりさくら香る
さくらあんパン

130円(税込)

ほんのりさくら香る
おやきあんぱん

130円(税込)

カフェ&レストラン
NODOKA
のどか

おすすめ!



特製ハンバーグ、オムレツ、小エビのフリットなどワンプレートに盛りだくさん!!
のどかパンが2個セットになっているのでお好きに料理を挟んでバーガーにできます。
そのまま食べても良し、自分でオリジナルのバーガーにしても良し。楽しく選びながらランチしてみてはいかがでしょうか。

デラックスプレートランチ
1,400円(税込)

**ぎゃらりーASAHIYAより
新作紹介**

♪happy♪horse shoes ~幸せの小箱~

ここにあるのは、木箱。

ただの木箱ではありません。沢山の想いが入っています。

ガラスから透けて見えるのは、蹄鉄。添えられている花は、千日紅。

蹄鉄の上部が開いていることで

「幸せを受け止める」

と言われています。そして千日紅の花言葉も素敵です。

誰かを大切に想う気持ちは、いつの時代も変わりません。

あなたにとっての、幸せが訪れますように。

そう願いながら、今日も蹄鉄を磨いています。



ぎゃらりーASAHIYA
インスタ絶賛更新中!
[#gallery._asahiya]



社会福祉法人 落穂会
鹿児島市皆与志町 2503 番地
<http://www.asahigaokagakuen.jp/>
<http://www.asahi-center.co>

障害児入所施設
あさひが丘学園
TEL 099-238-4821

障害者支援施設
あさひが丘
TEL 099-238-4821

地域生活支援センター
あさひが丘
TEL 099-243-1112

障害者支援施設
旭福祉センター
TEL 099-244-3551

障害福祉サービス事業
第二旭福祉センター
TEL 099-244-3551